学校番号	216

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新訂版　日本史Ａ　人・くらし・未来」　（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ペリー来航から現代の日本に至るまでの歴史の流れを理解できるように、基本的な歴史事象を中心に学習していきます。
・授業は、教科書だけでなく、プリント・画像・実物教材・映像を使って行い、歴史に興味を持てるように工夫していきます。
・基本的な事項を確認するために、授業において、定期的に小テストを行います。

2　学習の到達目標

・さまざまな資料の活用を通して、ペリー来航から現代の日本に至るまでの歴史の流れを理解することができる。
・日本の近現代史におけるさまざまな歴史事象を、同時代の国際社会の動向と結びつけて考えることによって、歴史的なものの見方や考え方を身につけることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近代から現代までの日本の歴史に対する関心を持ち、追究しようとする。また、授業で示す資料や図を積極的に見て知識を深めようとしている。	世界の近現代史との関わりの中で、日本の近現代史の流れをとらえ、考察して、現代日本社会の姿を理解し、その成果を適切に表現する。	日本の近現代史に関する諸資料を読み取り、効果的に活用して、歴史的事象を追究する方法を身に付けている。	日本の近現代史に関する基本的な事柄を世界の近現代史と関連づけて理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	①私たちの身近なところから歴史を考えてみよう ②世界遺産でみる日本のあゆみ ③コラム　近現代学習のはじめに ④近現代学習お役立ち地図	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a:近現代の歴史的事象と現在との結びつきに関する本単元の主題を考察することで、日本の近現代史への関心を高めようとしている。 b:本単元の主題について、多角的に考察し、その成果を適切に表現している。 c:本単元の主題について、考察に必要な諸資料を収集し、読み取り、効果的に活用することができている。 d:本主題の主題について、日本の近現代史と関連づけて理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査
1学期	近代の日本と世界	第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第１節　近代への胎動 ①せまってくる外国船 ②ちからを蓄える庶民 ③近代思想のいぶき ④揺らぐ幕藩体制 第2節 明治維新 ①黒船がやってきた ②志士たちの時代 ③手を結ぶ薩長 ④近代との出会い ⑤江戸幕府が終わり新政府へ 第3節　近代国家の形成 ①江戸が東京になった ②天皇の軍隊がつくられた ③スローガンは「富国強兵」 ④欧米文化がはいってきた ⑤日本の国境が定まった ⑥爆発する農民や士族の不満 ⑦国会開設が決まった ⑧地主制が進行した ⑨立憲政治がはじまった ⑩国会がはじめて開かれた 第4節　国際関係の推移と近代産業の発展 ①欧米と肩を並べる国をめざして ②清国との対立が深まった ③藩閥と政党が接近した ④ロシアとの戦争がおこった ⑤アジアへの勢力拡大がはじまる	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程における諸問題に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程における諸問題を多角的に考察し、その成果を適切に表現している。 c:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程の諸問題に関する諸資料を収集し、読み取り、効果的に活用することができている。 d:欧米諸国のアジア進出という国際情勢の中で、開国・明治維新を経て近代国家が急速に形成され、さらには日清・日露戦争を通して、日本の国際的地位が向上していく過程の諸問題について理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

2学期		⑥国民の生活が圧迫された	○			○		ワークシート 定期考査
		⑦綿糸と生糸が支えた産業革命		○	○			
		⑧欧米の資本主義に仲間入りした	○	○				
		⑨貧富の差が広がった		○	○			
		⑩国家主義が台頭する	○			○		
		⑪教育が進展した		○		○		
		⑫明治の文化が花開いた			○	○		
		第2章　両大戦をめぐる国際情勢					a:第１次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象に関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:第１次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象について、多角的に考察し、その成果を適切に表現している。 c:第１次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象に関する諸資料を収集し、読み取り、効果的に活用することができている。 d:第１次世界大戦前後の国際関係の変化と日本の政治・経済の動向や日中戦争から太平洋戦争にいたるまでにおこった様々な歴史事象を理解し、その知識を身につけている。	
		第１節　第一次世界大戦と日本						
		①民衆が政治を動かしはじめた		○	○			
		②最初の世界大戦に日本も参加した	○			○		
		③成金の時代がやってきた			○	○		
		④朝鮮・中国の民衆が立ち上がった		○	○			
		⑤日本は欧米に歩調をあわせた	○			○		
		⑥「平民宰相」が登場した	○	○				
		⑦抑圧からの解放を求めて	○			○		
		⑧新しい文化とモダンな都市が生まれた			○	○		
		⑨学問と芸術に新風が吹く			○	○		
		第２節　第二次大戦と日本						
		①恐慌の嵐が吹きあれる		○		○		
		②日本の外交が行きづまる	○		○			
		③軍部の暴走がはじまった	○	○				
		④中国との戦いがはじまった			○	○		
		⑤戦争の影が文化におよぶ			○	○		
		⑥すべてが戦争に協力させられた		○	○			
		⑦アメリカとの戦争がはじまった		○		○		
		⑧戦争が拡大する	○		○			
		⑨アジア・太平洋の諸民族にかかわった	○	○				
		⑩生活も戦争に染まった			○	○		
		⑪戦争が終わった	○	○				
		第3章　現代の日本と世界					a:占領統治下における日本の政治・経済の動向やその後の経済大国化への過程、さらには今日の世界と日本に関する様々な歴史事象に関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:占領統治下における日本の政治・経済の動向やその後の経済大国化への過程、さらには今日の世界と日本に関する様々な歴史事象について、多角的に考察し、その成果を適切に表現している。	
3学期		第1節　日本の再出発						ワークシート 定期考査
		①占領軍がやってきた	○		○			
		②日本が生まれかわる		○		○		
		③新しい国のしくみ		○	○			
		④飢えとのたたかい	○			○		
		⑤飢えのなかでも解放感があった	○	○				
		⑥民主化から経済復興へ	○		○	○		
		⑦復興への転機到来		○				
		⑧複雑な環境のなかでの独立			○			
		第2節　独立後の政治と経済の発展						
		①平和の願いが叫ばれた	○	○				
		②保守と革新の正面衝突			○	○		
		③奇跡の経済成長がはじまった		○		○		
		④奇跡の経済成長の影	○		○	○		
		⑤あらたな戦争にまきこまれた	○	○				
		⑥豊かさと中流意識			○	○		

3学期		第3節　現代の日本と世界 ①2つのショック ②経済大国が誕生した ③消費はファッションになった ④バブルはこうしてふくらんだ ⑤大きな歴史の転換をむかえた ⑥政局と経済が混迷する ⑦これからの日本について考えよう ⑧時代の転換点に立って	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	c:占領統治下における日本の政治・経済の動向やその後の経済大国化への過程、さらには今日の世界と日本に関する様々な歴史事象について、諸資料を収集し、読み取り、効果的に活用することができている。 d:占領統治下における日本の政治・経済の動向やその後の経済大国化への過程、さらには今日の世界と日本の関係に関する様々な歴史事象を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。